

令和元年10月16日
福祉部地域ケア推進課

認知症高齢者見守り支援体制の強化について

1 目的

認知症などにより、帰宅できなくなっている高齢者を早期に発見し安全を確保するために、検索に利用できる情報共有アプリの活用を区全体で進めることで、認知症高齢者の見守り体制の強化を図る。

2 内容

①情報共有アプリ（「ただいまプロジェクト」：一般社団法人日本地域ケア協会）
アプリに登録した高齢者が、行方不明になった際、協力者として登録しているサポーターのスマートフォンにSOS情報が届く。

サポーターは、通勤や買い物などの日常生活の中、該当する方を見かけた場合、スマートフォンで報告することで、家族等が現場に向かい、本人を確保する。

②登録対象者

認知症などで外出先から戻れなくなる可能性がある方

高齢者見守りキーホルダーやGPS位置情報端末利用申請時などの機会に案内することを想定

③サポーター（協力者）

認知症サポーター養成講座を受講した方

3 期待される効果

①GPS位置情報端末との連携

GPS位置情報端末を所持している方が行方不明になり、GPSで居場所の確認はできたものの、迎えに行くまで時間がかかるような場合、近隣のサポーターが協力することで、迅速な対応が期待できる

②認知症サポーターの活動の場の創出

認知症サポーターとして具体的な活動を希望する声があがっており、活動の機会を提供できる

4 実施時期

令和元年11月予定